

最大の廓 大坂屋跡



古くは豊臣秀吉の時代から続く下関の遊郭の中でも最も大きな廓「大坂屋」は、現在の東京第一ホテルの場所にありました。

壇ノ浦で敗れた平家の女官たちが、安徳帝の命日に参拝する先帝祭の上臈道中は大坂屋から出発していました。

上の写真は、伊藤博文が「鎮海楼」と名付けた大正時代のものですが、かつて「対帆楼」とも呼ばれた大坂屋は、伊藤博文ら幕末の志士達も集った維新回轉の歴史の舞台でもあったのです。

